

ワクチンを打って社会全体で未来の赤ちゃんを守ろう！

～風疹をなくそうの会『hand in hand』とは～

2013年8月 結成

風疹ワクチンの啓発や費用助成を求めため、また、CRS を正しく理解していただくために、メディア・雑誌等の取材を受けたり、国や各道府県・市・行政等に要望書の提出や懇談をしたり、学会などで展示ブースを出したりして、情報提供しています。

- ・風疹の流行を繰り返さないために活動します。
- ・MR ワクチン接種の啓発活動を行います。
- ・ワクチン接種や先天性風疹症候群 (CRS) に関する学習会を行います。
- ・先天性風疹症候群 (CRS) 同士と、その家族が交流できる場を作ります。
- ・先天性風疹症候群 (CRS) の情報提供をします。

アドバイザー：東北大学病院検査部 中島一敏先生
国立感染症研究所疫学疫学センター長 砂川富正先生



〈先天性風疹症候群のお子さんを持つ母親の体験談より〉

2012年6月(妊娠17週)次男を妊娠中、風疹にかかりました。その時に初めて、私は先天性風疹症候群という言葉とともに、風疹ウイルスが胎児にもたらす影響など風疹の怖さを学びました。

障がいをもって生まれてきて、この子自身は幸せなのか、つらい思いをさせてしまうのではないかと、そして、この子だけでなく、長男にたくさんの我慢をさせてしまうのではないかと、という思い。それに反してお腹の中で元気に動き、自分の命を主張して、生きたい！生きたい！と言っているかのようなかわいい次男。私はこの子に会いたい。この手であたためたいこの子を抱きたい。そう強く思いました。もしかしら、この時期が一番つらい時期だったのかもしれない。障がいがあった時よりも、この子を失うかもしれないという時の方がつらかったのです。そうして私たちは産むことを決意しました。

2012年11月、次男出産。先天性風疹症候群と診断され、両耳に障がいがあることも判明。
現在、次男は両耳に障がいはありますが、元気にすくすくと成長しています。

ただ、今でも、なぜ風疹ワクチンを打たなかったのか、という後悔は尽きません。今、私は周りの人たちにも支えられ、前向きに楽しく過ごしています。本当に産まれてきてくれたことに、たくさんの「ありがとう」です。

風疹の怖さ、そして正しい知識を持って下さい。ワクチン1つで守れるものがあります。

1人でも多くの妊婦さん・赤ちゃんをみなさんの手で守れますように・・・。



先天性風疹症候群 (CRS) で生まれた当事者と親の会

どんなに時間が経とうと
あの時の感覚が消えることはありません。

お腹に宿った命を誰よりも大切に思い幸せだった時間が
風疹という遭ってはいけないものに
遭ってはいけない時に遭ってしまった
あの時のこと・・・

もう誰にも あんな思いをしてほしくない・・・

風疹によって心も身体も傷つけられていく
ワクチン接種でみなくですむ悪夢を

どうか

一人でも多くの方が行動を起こして
風疹をなくしてほしいと願うばかりです。

～妊娠初期(14週)に風疹にかかってしまったお母さんの思い～



風疹をなくそうの会 『hand in hand』

会のホームページ：<http://stopfuushin.jimdo.com>

ブログ：<http://ameblo.jp/tonokunn/>

FACE BOOK：<https://www.facebook.com/fuushin2013>

MAIL：stopfuushin2013@gmail.com

CRS(先天性風疹症候群)は MRワクチンで防ぐことができます!

先天性風疹症候群(CRS)って?

大きな特徴としては、心臓・難聴・脳障がい・視力障がいなどです。一過性のものから永続的なものまであります。特に妊娠20週までに風疹にかかると、障がいも重なることがあります。これを『先天性風疹症候群(CRS)』といいます。妊娠1ヵ月で50%、2ヵ月で35%、3ヵ月で18%、4ヵ月で8%の確率で症状が出るといわれています。

風疹ってどんな病気?

風疹は、発熱・発疹・リンパ節の腫れを特徴とするウイルス性発疹症です。風疹はくしゃみや会話で飛ぶ唾液でうつる、感染力が強い病気です。しかし、15%程度、症状の現れない感染(不顕性感染)があります。症状は不顕性感染から入院が必要なくらい重いものまで幅広く、見た目だけで判断するのは難しい病気です。

妊娠中に風疹にかかるとどうしてダメなの?

CRSの病原体は風疹ウイルスです。妊娠中に風疹にかかるとウイルスが胎盤を通して赤ちゃんの大切な器官を作るのを邪魔するため、赤ちゃんに障がいが出ることがあります。大人がかかった際に対症療法しか治療はできませんが、胎内感染の胎児への治療方法もありません。だから、赤ちゃんを守るためには、妊娠前にワクチン接種をして妊娠中風疹にかからないようにする必要があります。

※不妊治療の前には必ず抗体検査をして下さい。また、ワクチン接種後女性は2ヶ月の避妊が必要です。男性の避妊は必要ありません。

※ワクチン接種後すぐの妊娠でCRS児が生まれた例は1例もないので墮胎の必要はありません。

接種が必要なのは女性だけ?

いいえ。実は2012年からの流行で患者の8割は男性でした。国の予防接種制度の変わり目で、予防接種をしていない人が多いのが原因です。職場・電車の中・レストランの中など、妊娠初期の妊婦さんがあなたの隣にいるかもしれません。あなたが気がつかないうちに風疹の感染源とならないよう予防接種をしましょう。

※20~40代の男性は
国の方針で子どもの頃に
予防接種を受けていません。



妊娠中、風疹かな? と思ったら

かかりつけの産婦人科で今後の相談をすることができます。まずはかかりつけの産婦人科に来院以外の方法で連絡してください。

[妊娠 風疹 二次施設 検索](#)

妊娠中に風疹にかかったからといって、100%重い障がいを持った赤ちゃんが産まれるというわけではありません。妊娠の経過をよくみて、ご家族、主治医の先生と相談して下さいね。

